

日本アニメーション史 I

科目ナンバリング ARL-207
選択 2単位

萩原 由加里

1. 授業の概要(ねらい)

日本アニメーションの歴史について、国産アニメーションの制作が開始された1917年から終戦までの時期を取り上げる。制作者と作品の変遷を追っていくことで、単なる表現上の進歩にはとどまらない、アニメーションを取り巻く状況の変化について、実際の映像を見ながら解説していく。

2. 授業の到達目標

1. 日本の伝統文化との関係性から、歴史的なアニメーション作品に関する専門的な知識を身につける
2. 歴史的なアニメーション作品を読み解き、日本文化の時代による変遷を説明できるようにする

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート40%、平常点(毎回の授業でのリアクションペーパー)60%

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書:なし

参考文献

津堅信之 『アニメーション学入門』(2017) 平凡社

5. 準備学修の内容

次回に取り上げる時代について、その時代の社会的・政治的な出来事を図書館やネットを使って調べて、時代背景を把握したうえで授業に臨むこと。

授業内で取り上げた作品は、授業後に視聴しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

第15回目のオンライン回の実施日については、授業内で別途指示する。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス アニメーションとは何か?
- 【第2回】 アニメーションの誕生
- 【第3回】 日本へのアニメーションの伝来
- 【第4回】 弟子たちの時代
- 【第5回】 大藤信郎とレコード式トーキー
- 【第6回】 海外でのトーキー化
- 【第7回】 日本におけるトーキー化への挑戦
- 【第8回】 京都とアニメーション
- 【第9回】 1930年代の戦争とアニメーション
- 【第10回】 日米開戦とアニメーション
- 【第11回】 アメリカのプロパガンダ・アニメーション
- 【第12回】 戦争が日本アニメーションにもたらしたもの
- 【第13回】 敗戦からの復興
- 【第14回】 こねこの系譜
- 【第15回】 (オンライン回)アニメーションとは何かを考え直す